

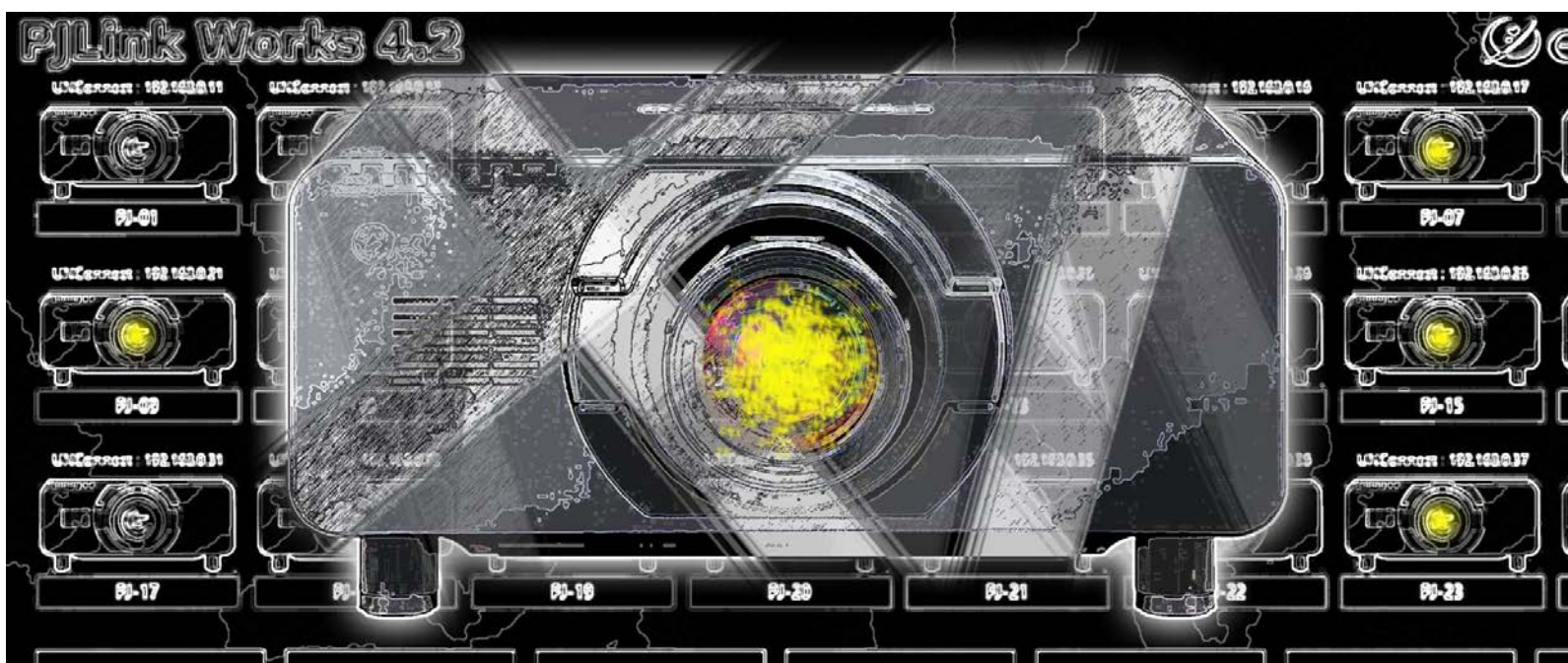
PJLinkWorks 4.2 取扱説明書

for Windows

PJLinkWorks とは

パナソニック社製 業務用プロジェクターのシャッターを自由にコントロールすることが出来ます。最大 24 台までのプロジェクターを登録、制御することができ、ライブやイベント時に必要なプロジェクターのみの投射をコントロールすることで、効果的な映像演出をお手伝いします。プロジェクターやディスプレイを操作・管理するための統一規格「PJLink」というプロトコルに沿って制御するように開発されています。

複数のプロジェクターのシャッター同時オープン、クローズやあらかじめ設定した任意のプロジェクターのみのシャッターコントロールも 10 個のカスタムボタンに割り付けられます。また、ライブやイベントの本番時のオペレーション負担を低減するため、キーボードショートカットによる制御も可能となっております。

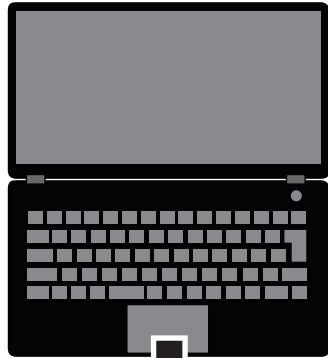


接続イメージ (Ethernet 接続)

制御用パソコン (WindowsPC)

IP Address:192.168.0.100

Subnetmask:255.255.255.0

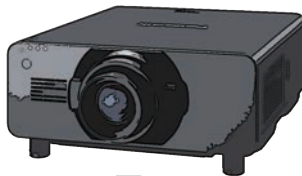


プロジェクター

IP Address:192.168.0.8

Subnetmask:255.255.255.0

Password : panasonic

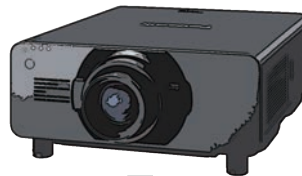


プロジェクター

IP Address:192.168.0.9

Subnetmask:255.255.255.0

Password : panasonic

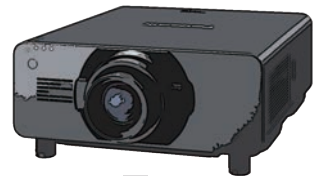


プロジェクター

IP Address:192.168.0.10

Subnetmask:255.255.255.0

Password : panasonic



Ethernet 接続による制御

PJLinkWorks 4.2 は最大 24 台の PJLink プロトコルに準拠したプロジェクターを制御することができます。

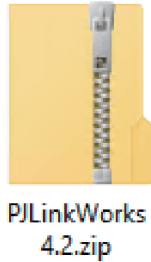
プロジェクターと制御パソコンの IP Address は同じグループ内のユニークな値を設定します。
例えば制御パソコンは「192.168.0.100」、プロジェクターは「192.168.0.8」「192.168.0.9」「192.168.0.10」のように設定をします。

動作環境

Windows 7/8.0/8.1/10 上で動作をいたします。

Mac 環境では動作しません。

PJLinkWorks をダウンロードする



※ダウンロードされるファイルは Zip 形式で圧縮された状態となります。
アプリケーションはこの Zip ファイルの中に格納されています

PJLinkWorks4.2.zip ファイルの展開

zip 圧縮してあるデータを展開します。
ダブルクリックで展開しますと下記のように 5 つのファイルが展開されます。
(ソフトウェアの保存場所は特に決まりがありません。
Program フォルダ内やドキュメントフォルダ内、デスクトップに置くこともできます。)



アプリケーションが使用する
DLL ファイル

解凍した状態。(5 つのファイルが出来る。)

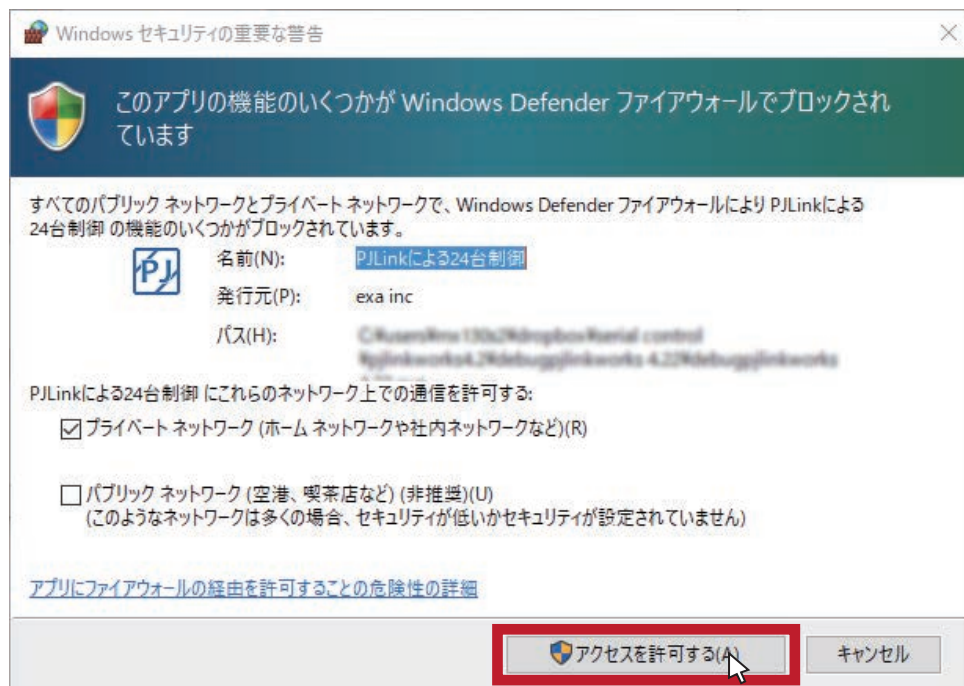
PJLinkWorks を起動する



PJLinkWorks の起動は、アプリケーション本体をダブルクリックして起動します。

起動時のエラーに対応する

Windows10 では、ネットワーク接続をするアプリケーションに対してファイアウォールの警告ダイアログを出します。「アクセスを許可する」ボタンを押して、この警告を解除します。



「アクセスを許可する」ボタンを押します。

PJLinkWorks の設定

PJLinkWorks が起動すると、通信設定画面が表示されます。

PJLink Works 4.22

設定の初期化

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.0.11	192.168.0.12	192.168.0.13	192.168.0.14	192.168.0.15	192.168.0.16	192.168.0.17	192.168.0.18
PJ-01	PJ-02	PJ-03	PJ-04	PJ-05	PJ-06	PJ-07	PJ-08
panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.0.21	192.168.0.22	192.168.0.23	192.168.0.24	192.168.0.25	192.168.0.26	192.168.0.27	192.168.0.28
PJ-09	PJ-10	PJ-11	PJ-12	PJ-13	PJ-14	PJ-15	PJ-16
panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.0.31	192.168.0.32	192.168.0.33	192.168.0.34	192.168.0.35	192.168.0.36	192.168.0.37	192.168.0.38
PJ-17	PJ-18	PJ-19	PJ-20	PJ-21	PJ-22	PJ-23	PJ-24
panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic	panasonic
Custum 1 Custum 2 Custum 3 Custum 4 Custum 5							
Custum 6 Custum 7 Custum 8 Custum 9 Custum 10							
終了 設定完了							

制御するプロジェクターにチェックを入れます

制御するプロジェクターの IP Address を設定する

制御するプロジェクターの名前を設定する

制御するプロジェクターに設定されているものと
同じセキュリティパスワードを設定する。

※Panasonic プロジェクターの場合は、標準では
「panasonic」となっています。

チェックを入れることで制御が可能になります

☒

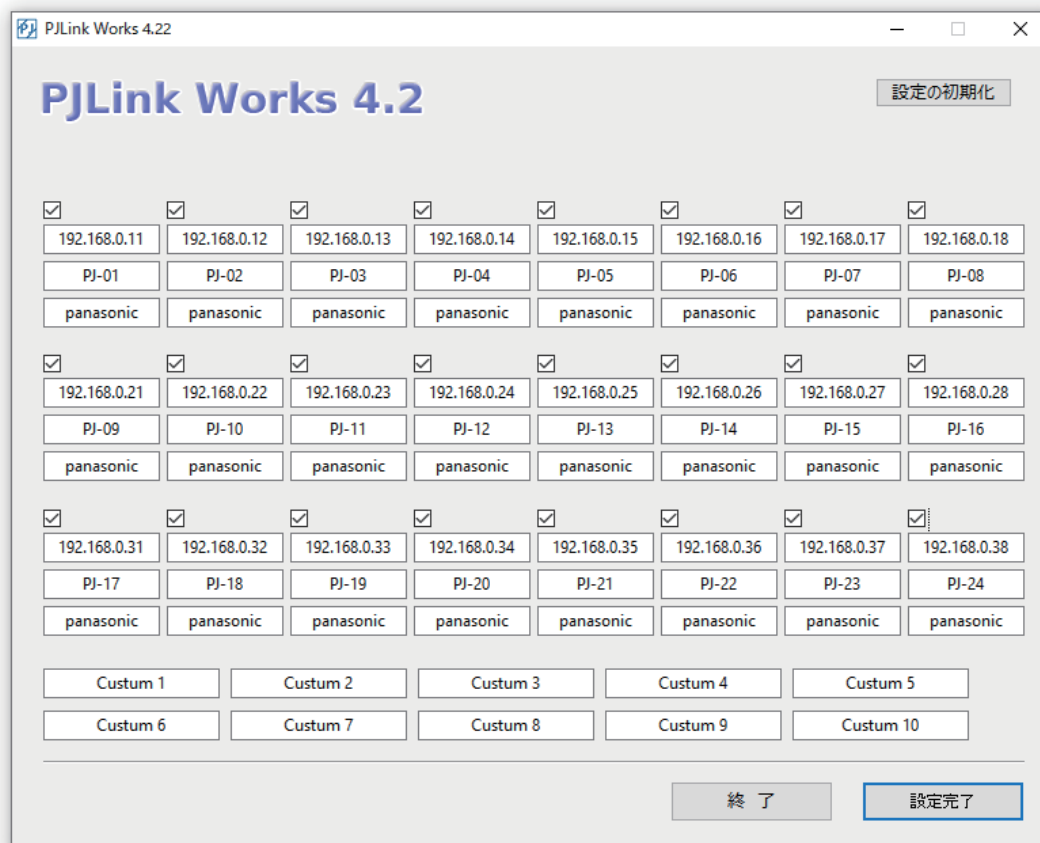
192.168.0.11

PJ-01

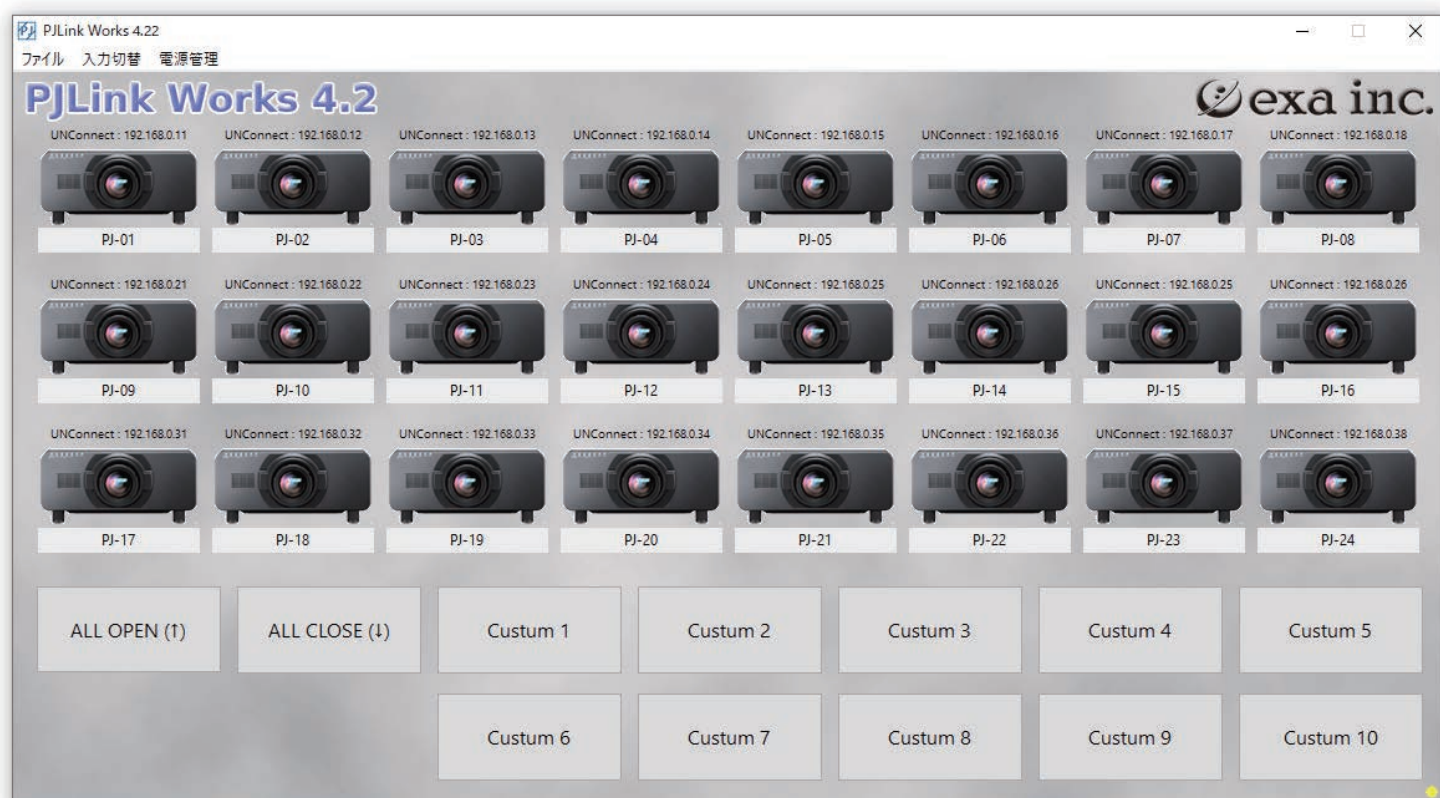
panasonic

PJLinkWorks の設定

24 台分すべてにチェックを入れた状態。

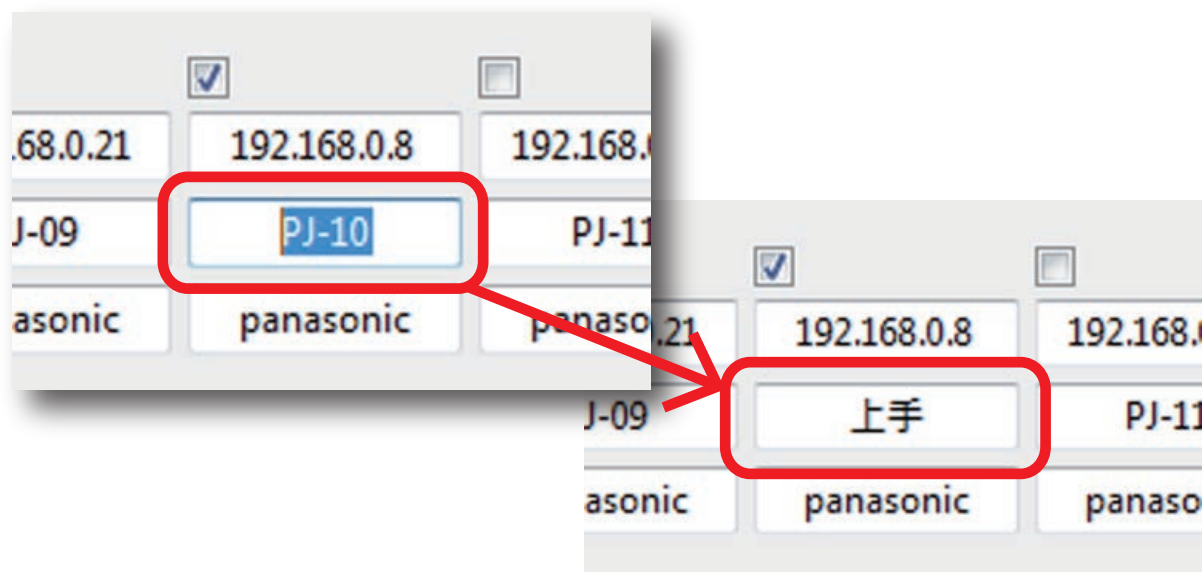


下図のように 24 台分のプロジェクターが表示される。

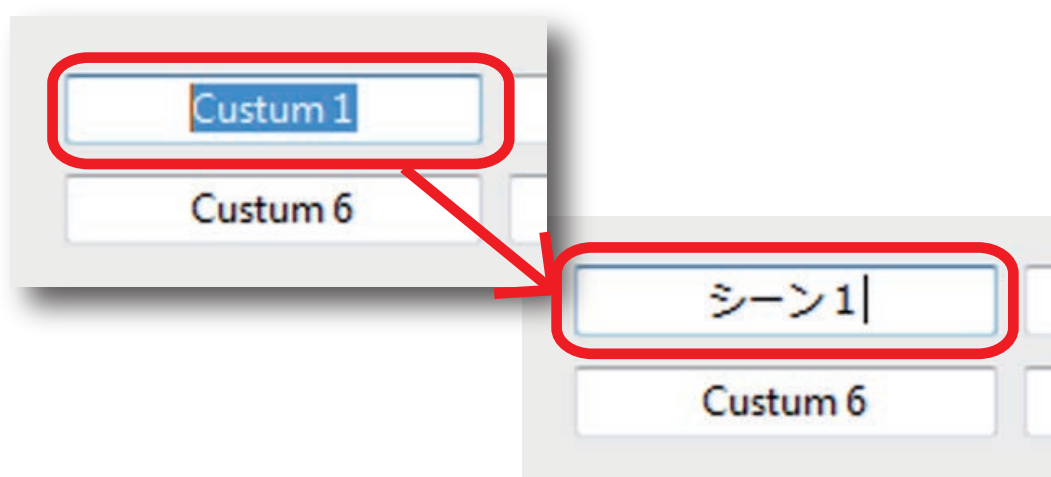


PJLinkWorks の設定

プロジェクターの表示の名前を変える。



カスタムボタンの表示の名前を変える。



設定がすべて終わったら「通信設定」ボタンを押して、
オペレーション画面に移ります。



オペレーション画面

4台のプロジェクター設定をした状態。



表示されているプロジェクターの
一斉シャッターオープン・クローズボタン
キーボードショートカット「↑」「↓」。

プロジェクター・シャッター制御のカスタム制御ボタン。
10個の任意の設定をすることができます。
キーボードショートカット「1」～「0」

接続状態を確認する

設定をしたプロジェクターと接続が出来ていない状態。
「UNConnect」と表示される。

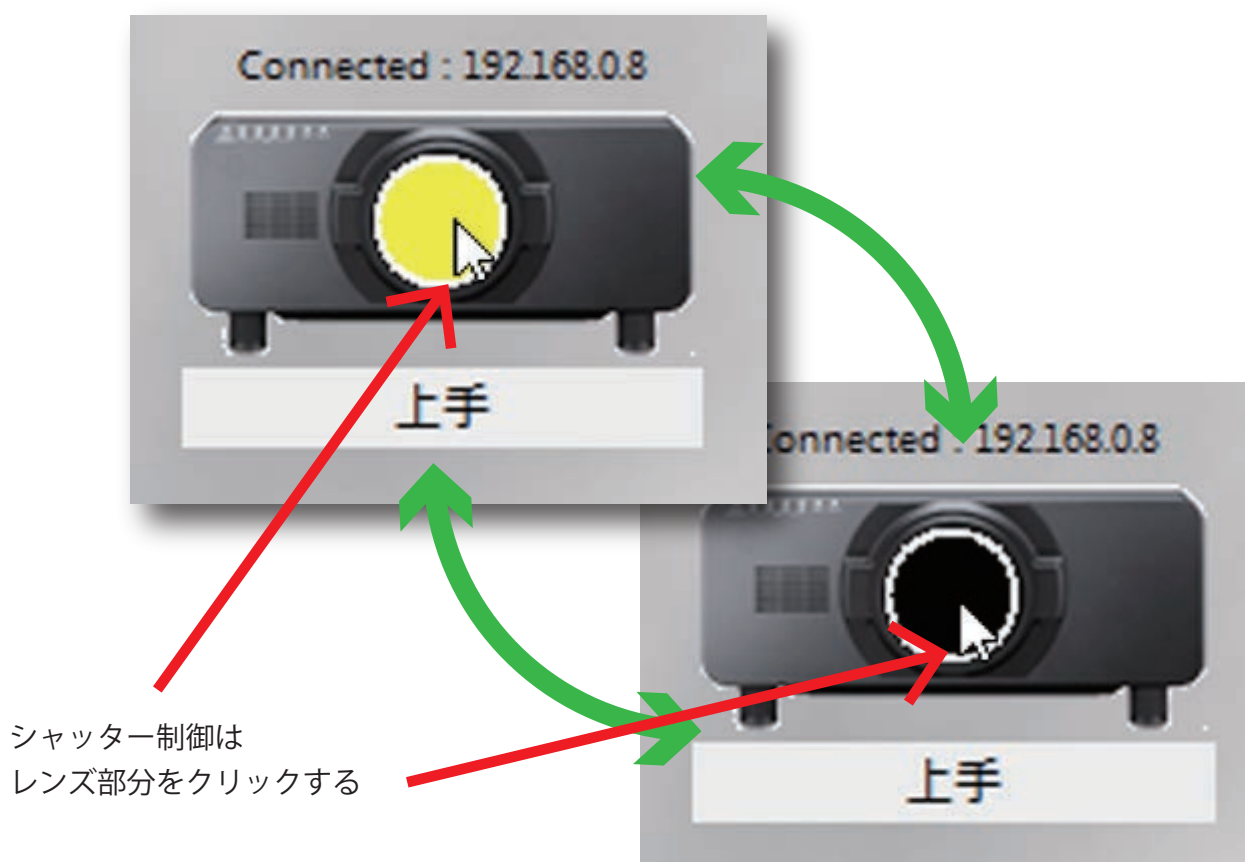


設定をしたプロジェクターと接続がされている状態。
「Connected」と表示される。



シャッターのオープン・クローズ

プロジェクターのレンズ部分にシャッターの状態を表示します。
シャッターが開いている時は黄色で表示され、閉じている時は黒で表示します。
シャッターのオープン・クローズは、レンズ部分をクリックすることで制御できます。
オープン（黄色）の状態の時にクリックするとクローズの制御がされ、クローズ（黒）の状態の時にクリックするとオープンの制御がされます。



一斉シャッター制御

「ALL OPEN」ボタン、キーボードの「↑」を押す。



「ALL CLOSE」ボタン、キーボードの「↓」を押す。



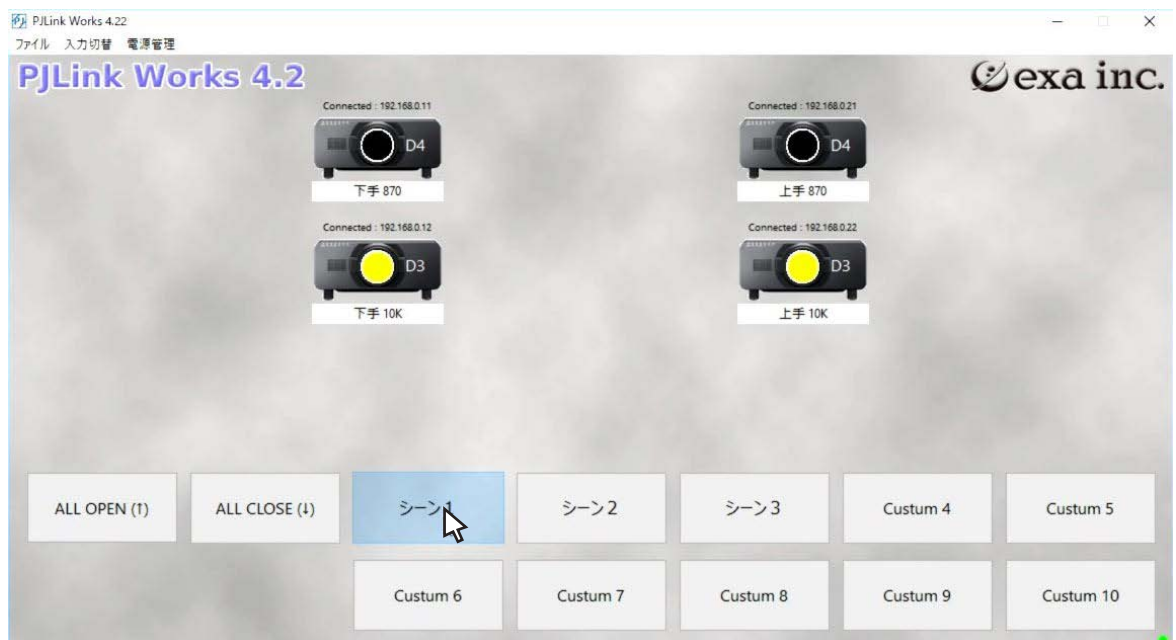
カスタムボタンの設定



カスタムボタンに現在のシャッター状態をメモリーさせます。
キーボードの「Shift」ボタンを押しながら、メモリーさせたいカスタムボタンをクリックします。

カスタムボタンの使用

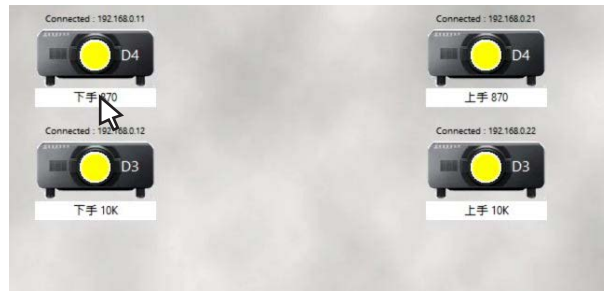
メモリーしたカスタムボタンを押すことで、プロジェクターのシャッターがメモリーした時の状態に制御されます。
キーボードショートカット「1」～「0」（テンキー側は動きません）でも動作します。



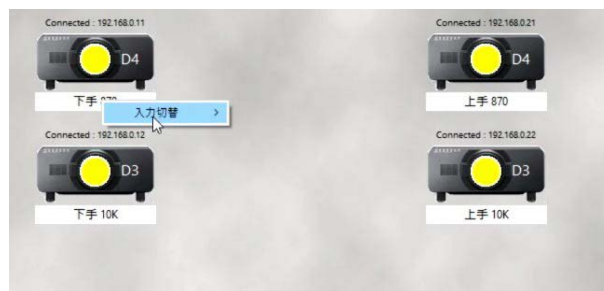
入力チャンネルの切替

PJLinkWorks は、接続されているプロジェクターの入力切替も対応しています。
全てのプロジェクターの入力チャンネルを一斉に切り替える機能の他、現在シャッターが開いているプロジェクターのみの入力チャンネルの切り替え、シャッターが閉じているプロジェクターのみの入力チャンネルの切り替えも出来ます。

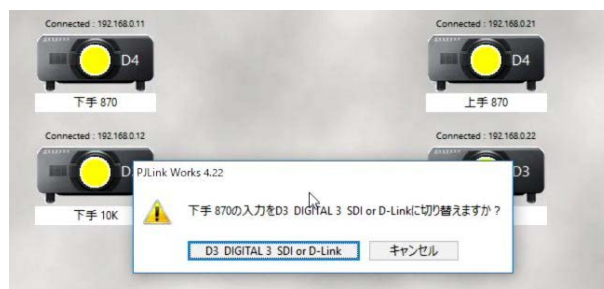
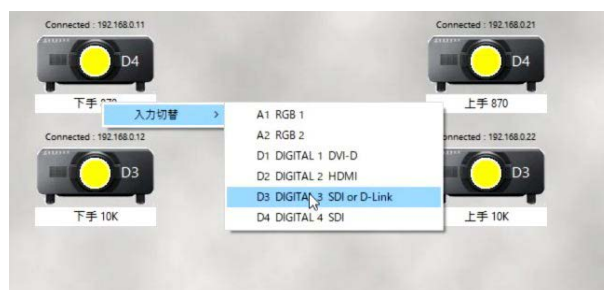
また個別にプロジェクターの入力チャンネルを切り替えることも出来ます。



入力切替をしたいプロジェクターの名前の部分にマウスカーソル持っていきます。
その状態で右クリックをします。



入力切替のサブメニューが表示されます



切り替えをしたい入力を選ぶと確認ダイアログが表示されます。
ボタンを押すことで入力が切り替わります。

キーボードショートカット

カスタムボタン

キーボードショートカット「1」～「0」



カスタムボタンのメモリー
「Shift key」+ ボタンクリック

一斉シャッター
OPEN「↑」/ CLOSE「↓」

お問い合わせ等

著作権

本ソフトウェアの著作権は弊社が所有しています。

ご利用ガイド

PJLinkWorks は、フリーウェアソフトとして公開します。

使用に関しては無料でご使用することが出来ます。

ソフトウェア内課金等ありません。

商業利用されることも可能となります。

弊社へのお問い合わせ

PJLinkWorks へのお問い合わせ、ご質問がありましたら下記メールアドレスまでご連絡ください。

また PJLinkWorks の再配布についてもメールにてご連絡をお願いいたします。

エクサ株式会社
contact@exa.co.jp